



学生がバイトで見つけた夢を紹介!



タウンワーク **TOWNWORK** Presents

キャンパスライフ・プラスワン

Campus Life+1 通信

～バイトが教えてくれたこと～ Vol.4

アルバイトを通じて

将来の夢を見つけた学生をご紹介します。

どんなことがきっかけだったのか?

今、どんな仕事をしているのか?

アルバイトをがんばる学生の

夢への道のりに迫ります!



遠藤 梨華さん(21歳)

埼玉県内の大学で社会福祉を学ぶ大学4年生。
大学1年生のときから現在のアルバイトを始め、
今は主任講師として、他のアルバイトスタッフを
取りまとめる役割も担う。

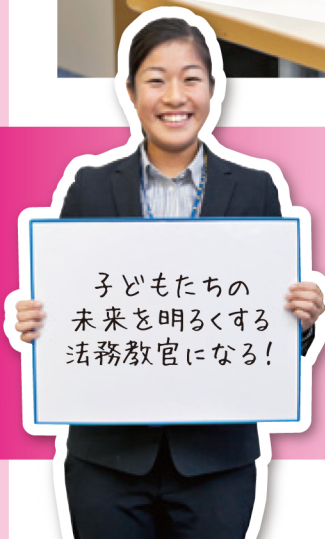
子どもの可能性は無限大にある
閉ざすのではなく広げる存在に

私の夢は、法務教官となり、少年
院もしくは少年鑑別所の教官とな
ることです。私がその夢を持つよう
になったのは、中学時代の同級生と
の出会いがきっかけでした。その同級
生は、本人の思いや考えをうまく周
囲に伝えることができず、誤解を与
えていました。しかし実際に接して
みると優しく思いやりがあり、そ
のことが皆に伝わっていないのが残
念だなと思いました。このように、周
囲とのずれ違いにより誤解されてし
まうことで、将来の選択肢が狭まっ
てしまう子どもたちの可能性を広
げてあげたいと、法務教官の夢を持
つようになりました。大学に進学す
る際も、非行少年たちの更生につい
て学びたいと思い、社会福祉の学部
のある学校を選びました。

一人ひとりと向き合う大切さを実感 子どもの可能性を広げられる法務教官に!

生徒は十人十色
それぞれにあった接し方を

現在、私は個別指導塾の明光義
塾で講師のアルバイトをしています。
このアルバイトを始めたのも、個別指
導なので生徒一人ひとりに向き合え
るところに魅力を感じたからです。
以前、宿題でやったことがなかなか身
に付かない生徒がいました。なぜ、で
きないのかを一緒に考え、解決策を見
出したところ、その生徒は宿題で
やってきたことが、どんどん身に付く
ようになりました。そのことを褒め
てあげると、すごく勉強に対して前
向きになってくれたのです。その時
に、褒めることの大切さや、それによ
り人は変わることができていること
を学びました。この経験を活かし、将来、
法務教官となった際は、子ども一人ひ
とりに寄り添い、可能性を広げられ
る存在になりたいです。



子どもたちの
未来を明るくする
法務教官になる!

2015年4月

法務教官となり、
少年院もしくは、
少年鑑別所の教官
として少年たちと
向き合う
少年院もしくは少年鑑別所の教
官として、さまざまな少年と向
き合い、一人ひとりの子ども
の可能性を広げることに努める。

2013年

大学のゼミで
児童自立支援施設
に行き実習を行う
大学のゼミで非行傾向にある
子どもたちと接する経験を
する。

2011年

個別指導の塾講師
のアルバイトを
始める
大学に入学してすぐに個別指
導の塾講師のアルバイトを始め
る。子どもに接する仕事の
難しさややりがいを実感。

2007年

同級生との出会い
本当は思いやりがあり優しい
同級生が周囲から誤解され
ているのを知り、何とかして
あげたいと思うように。

遠藤さんの
夢プラン

取材協力: 明光義塾 羽村教室

「Campus Life+1通信」の新着情報はこちらからCHECK!

<http://entac.jp/>

インタク

検索

主催: **ENTAC**

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

RECRUIT